# 組織活性化には情報伝達が重要

## 大阪代協

## システム・Ｗｅｂ活用オリエンテーション開催

大阪代協（新谷香代子会長）は、4月13日15時から、大阪市北区の同代協事務局会議室で、「システム・Ｗｅｂ活用オリエンテーション」をリアルで開催した。各代協では組織の活性化が課題とされる中、大阪代協ではそのためには情報の伝達が重要であるとの認識から、各支部の担当責任者を集めシステム・Ｗｅｂの活用について共有を図ることとした。

### 担当者と活用法を共有

### 会員にどう情報をフィードバックするか

オリエンテーションは2部構成で行われ、第1部は会員向け案内・フィードバックメール発信責任者が対象で12名が参加、第2部はホームページ活動報告責任者が対象で11名が参加した。

会場のようす

挨拶する新谷会長

冒頭、新谷会長が挨拶に立ち、「本日のオリエンテーションでは、会員の皆様に各支部がどのような活動や行事をしているのかを大阪代協のホームページを通じてフィードバックをする重要性について共有いただくことが第一である。まず、支部活動を活発化するためには、支部が今何をしているのかを皆様に分かっていただく必要がある。皆様は大変重要な役割を担っていただいている。新しいシステムもあるかと思うので有効な時間になるようよろしくお願いする」と述べた。

引き続いて吹原成治局長がオリエンテーション開催の趣旨・目的について説明し、「今後の支部活動報告について『アクセス数』『閲覧数』を把握できるシステムを活用し、今年1年どうすれば支部の会員の皆さんが閲覧するかを皆で一緒に研究して、より良いホームページになるよう改善したい」と述べた。

### より良いホームページ作成に向けて

システム・Ｗｅｂ活用の趣旨・目的は次のとおり。

- 支部の活性化のためには、必要な情報をタイミングよく届けることが不可欠。やり方やクオリティのバラツキをなくし、作業の定型化・標準化を進める。
- 進め方の原則、作業のツボ、他支部の好事例を学び、省力化を図るとともに、セキュアで分かりやすい発信ができるようになる。
- Ｗｅｂ活用に関して、普段から疑問に感じていることを共有し、解決策や改善方法を考える。

第1部では、事務局の高木由利子主任から「会員ページ」の書込みの権限者を対象に委員会・支部会の案内方法の説明があり、次のポイントを熱く語った。

- 会員へメールで案内する際、記事の登録編集において案内本文にＺｏｏｍのＵＲＬを埋め込んで登録する方法がある。会員に届くメール本文中にＺｏｏｍのＵＲＬが記載され、ワンクリックでＺｏｏｍに接続できる。会員だけに届くメールであり、会員ページにログインしなくてもＺｏｏｍに参加できるのでハイブリッド開催の場合は有効と思われる。
- 行事案内ページの添付資料欄の添付ＵＲＬは文字に置き換えができる。リンク先が確認できるメリットがあるのでぜひ活用してほしい。
- 大阪代協ＨＰの書込み権限を持っていれば、ＨＰのメディアライブラリーにＰＤＦのＵＲＬを設定して会員ページと連携させることも可能。
- フィードバックメールは、支部活動をホームページに掲載した後に送信するもので、会員にいかに興味を持って報告記事を見てもらえるかが重要。そこで書込み権限者である支部長には、見たいと思わせるような案内文を作成してもらいメールを送信してほしい。

そして、支部の中には、支部会や行事の参加率を上げるためにメール以外にＬＩＮＥや直接電話で連絡するなどいろいろ工夫している支部長もいることも併せて述べた。

続く第2部では、吹原局長から、「ホームページ」の寄稿権限者を対象にＨＰ活動報告ワークショップの説明があった。ホームページに掲載する作業はあくまでも手段であり、本来の目的はいかにすれば支部会員に見てもらえるかにある。そこで、いかに見やすい報告記事にするか「基本ルール」「基本操作方法」「操作方法応用編」に分けて説明し、確認した。

最後に広報室の佐藤書一室長が「フィードバックメールやホームページは、今まで支部会や支部行事にあまり参加しなかった会員に対し、いかに参加してもらえるかが大事である。そのために案内メールや活動報告の内容を目を引くような形にしていってほしい」と挨拶し、終了となった。